

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

超・長期優良住宅

グループの名称

命を守る家づくりを考える会

直近採択グループ番号

---

(グループ代表者)

代表者名

長谷川 元英

代表者印

代表者所属先

Casa株式会社

代表者所在地

三重県四日市市石塚町2番13号

代表者電話番号

059-358-7272

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社サンコー

事務局担当者名

笹原 充史

印

事務局郵便番号

454-0873

事務局所在地

愛知県名古屋市中川区上高畑2-23

事務局電話番号

052-351-3156

事務局FAX

052-353-5913

事務局担当者E-mail

a-sasahara@kabu-sanko.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	超・長期優良住宅
2. グループの名称(必須)	命を守る家づくりを考える会
3. 直近採択グループ番号(必須)	--
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県・静岡県
5. 結成年(必須)	2018 年
6. グループ代表者名(必須)	長谷川 元英
7. グループ代表者の所属先(必須)	Casa株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	三重県四日市市石塚町2番13号
9. グループ代表者電話番号(必須)	059-358-7272
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社サンコー
11. グループ事務局担当者名(必須)	笹原 充史
12. グループ事務局郵便番号(必須)	454-0873
13. グループ事務局所在地(必須)	愛知県名古屋市中川区上高畑2-23
14. グループ事務局電話番号(必須)	052-351-3156
15. グループ事務局FAX番号(必須)	052-353-5913
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	a-sasahara@kabu-sanko.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	17	一部の原木供給事業者が海外事業者であるため
II. 製材・集成材製造・合板製造	28	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	18	
IV. プレカット	15	
V. 設計	1	
VI. 施工	29	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木製品」の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木製品(合法伐採木材等証明)	国内・国外	
				番号記入欄	
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明		国産材		3	国内
		外材		3	国外
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		4	国内
		外材		4	国外
	あいち認証材	愛知県	愛知県産材認証機構認証制度	1	国内
	ぎふ証明材	岐阜県	岐阜証明材推進制度	1	国内
三重の木	三重県	「三重の木」認証制度	1	国内	
静岡県産材	静岡県	静岡県産材証明制度	1	国内	
しずおか優良木材	静岡県	しずおか優良木材認証制度	1	国内	
びわ湖材	滋賀県	びわ湖材産地証明制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		7	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	7	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		46	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	46	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		20	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	20	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟		
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟			
原則、先着順とする。							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)							
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	優良建築物型						
	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
採択床面積	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	m <sup>2</sup>		





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>超・長期優良住宅</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県・静岡県</b>
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) <b>命を守る家づくりを考える会</b>	(結成年) <b>2018年</b>
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	この地域は南海トラフ大地震が起きる可能性が高いため、耐震性能を重視した耐震等級3の建物とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	大地震から大切な家族の命と財産を守り、また住み続けられることができる住宅を設計する。(耐震等級3)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	壁のバランス(4分割法、偏心率)を考慮しながら、より強い構造を目指す。また以上のことを考慮しデザインする。	◎
④①～③の背景	熊本地震の教訓を生かし、いつ来るか分からない大地震に備え命や財産を守り、また住み続けられる家造りが必要と考える。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施工事業者においては構造の勉強会の受講を必須とし、構造の知識を深める。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 土台105以上、柱105以上 合法木材が県認証材とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 耐震等級3を標準仕様として計算を行う。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 複数のプレカット工場との提携により、施工業者に合わせた資材の調達供給をスムーズに行う。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 生産の合理化に向けた情報収集を行っていく。	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局及びグループ構成員で計算サポートを行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 耐震等級3を標準とした施工を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計者が現場で自主検査を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 積算専用のソフトを利用し積算の合理化を図る。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造の勉強会をPRし、定期的に開催する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の立ち位置によって異なるが、適時週2回の休みを組めるように意識付けをする。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ全体のスキル向上を目指して、各社有資格者に対して評価を行うことを奨励する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の立ち位置によって異なるが、各社社会保険加入を奨励する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 安全大会導入及び、健康診断を行うことを奨励する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	耐震等級3に備える為の商材の確保、新工法等の情報収集、グループ構成員で情報共有を行う。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 超・長期優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県・静岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 命を守る家づくりを考える会	(結成年) 2018 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関(いえかるて等)の利用を推奨する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関(いえかるて等)の利用を推奨する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関(いえかるて等)にて住宅履歴が確認できる。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社で保全計画書を作成し、それに基づいて点検を行うことを推奨する。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 必要に応じて補修を行う。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画通りの点検結果の履歴情報を蓄積し、適時必要に応じて住宅履歴に記録する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お施主様に向けたメンテナンス・リフォームの勉強会の実施を目標とする	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工業者において行われるイベントにて端材等を使用したDIY体験、木工教室等を行う。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工業者のイベント内において行う。(耐震相談等を行う。)	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 設置する為の維持管理の情報収集を行っていく		
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 指定点検時期に関わらず地震・台風時に臨時点検を行う	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で話し合い引き継ぎ施工業者を選定し、消費者に対して提案と説明を実施する。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に行っている勉強会の中で瑕疵などにつながる施工事例を共有する。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	メンテナンスが不要となる様な商材や施工方法の情報収集や構成員に対して情報共有を行う。		○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造の勉強会を適時開催して行う。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 耐震等級3を標準とした家づくりを行う	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造塾に入塾していること。耐震等級3の適合書取得を必須とする。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が主となり物件情報を把握。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造に対する勉強会を1年を通して5回行う。これを3年まで計画している。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造塾の運営と物件情報の把握を全て事務局がワンストップで行う。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 33 今年度の参加目標人数 10	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 10	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会の日程、開催が決まったら未受講の会社の参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断熱・耐震パネルを提案する	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断熱・耐震パネル、エネルギー商材等を活用してより長期にわたって住み続けられる家づくりを実現できるよう各社メーカーの技術力を創意工夫する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 超・長期優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県・静岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 命を守る家づくりを考える会	(結成年) 2018 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) ② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) ③ 標準的な地域材の使用部位(必須) ④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	◎ ◎ ◎ ◎
主要構造材(土台、柱、梁・桁)80%以上を合法木材もしくは県認証材(愛知・岐阜・三重・静岡・滋賀)とする。 <input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上 主要構造材    土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材    間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材    枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材    壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 原木供給業者→製材・集成材・合板製造業者→(流通業者)→プレカット業者→流通業者→施工業者		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 ①-2 地域材価格の共有の仕組 ② グループ全体における地域材の需給予測	○ ○ ○
c	①-1 畳の活用 ①-2 和瓦の活用 ①-3 襖の活用 ①-4 障子の活用 ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 ② 地域の住まい方の継承につながる取組 ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 ④ 和の住まいの要素を取入れた取組	◎ ◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災された東日本のメーカー商材を優先的に使用するよう働きかける	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	被災された熊本地域の資材を優先して使用するよう働きかける	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 超・長期優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県・静岡県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 命を守る家づくりを考える会	(結成年) 2018 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	--	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>認定低炭素住宅 : 認定低炭素住宅認定基準値に準ずる性能とする。</p> <p>性能向上計画認定住宅: 認定基準の水準に準ずる性能とする。</p> <p>ゼロ・エネルギー住宅 : H28省エネ基準を用いた評価とし、要請要件(R0値を21%以上、R値を103%)以上の性能とする。(様式5-1参照)</p> <p>省エネ計算の根拠となる部材や設備が実際に仕様に組み込まれているかどうか確認する為、高度省エネ型の計算(外皮熱性能計算、一次エネルギー消費量計算)に関わる設備機器(断熱材、サッシ、太陽光発電システム、給湯、照明、換気システム、冷暖房設備等)においては原則(グループ内で対応できない特殊な工法の場合を除く)グループ内流通とする。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。